

第 16 回国連アジア太平洋地域地図学会報告

Report on The 16th United Nations Regional Cartographic Conference for Asia and the Pacific

企画部 下山泰志・坂部真一・土井弘充・浅野妙子・南秀和
Planning Department

Yasushi SHIMOYAMA, Shinichi SAKABE, Hiromitsu DOI, Taeko ASANO, Hidekazu MINAMI

要 旨

2003 年 7 月、沖縄県で第 16 回国連アジア太平洋地域地図学会が開催された。会議では、空間データ基盤の整備やそれに関わる広範な課題について活発な討議が行われ、アジア太平洋地域の空間データ基盤 (SDI) 整備推進に向けた決議が全会一致で採択された。

会議のホスト国を務める日本は、国土地理院を中心として、国連統計部、関係省庁等との調整を行いつつ、また沖縄県等からの協力を得て会議の準備を進め、5 日間の会議を成功裡に終わらせることができた。

1. 開催概要

1. 1 会議の沿革

国連アジア太平洋地域地図学会 (UNRCC-AP) は、国連経済社会理事会の勧告 (1948 年) に基づき設置された国連主催の政府間の会議で、1955 年に第 1 回会議を開催して以来ほぼ 3 年ごとに開催されている。日本での開催は、30 年ぶり、3 回目となる。会議の目的は、主としてアジア太平洋地域の 55 ヶ国・地域における測量・地図作成事業を促進し、各国の経済・社会開発に資することである。

会議は第 9 回アジア太平洋 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) との同時開催という位置づけで行った。

PCGIAP は UNRCC-AP に参加するアジア太平洋地域の測量・地図作成機関の会議であり、第 13 回国連アジア太平洋地域地図学会 (1994 年) の勧告に基づき、1995 年に設立された。PCGIAP は毎年 1 回の委員会及び理事会が開かれており、また WG 1 測地、WG 2 基盤データ、WG 3 地籍、WG 4 組織強化の 4 つのワーキンググループが、それぞれの分野で活動を行っている。

なお、今回の会議に至るまでの主な経緯を付録 1 に示す。

1. 2 開催概要

名 称：第 16 回国連アジア太平洋地域地図学会

主 催：国際連合・日本国

テーマ：「新しいステージへの展開－アジア太平洋地域の持続可能な開発のための空間データ基盤」

“Evolving into a New Stage - SDI for Sustainable Development in Asia and the Pacific”

日 時：2003 年 7 月 14 日～18 日 (5 日間)

場 所：沖縄コンベンションセンター (沖縄県宜野湾市)

参加者：国家測量・地図作成機関の長や国際機関からの専門家ら 48 ヶ国、約 210 人

1. 3 プログラム

7 月 14 日 (月)

(9:00-12:00) PCGIAP 理事会)
14:00-14:30 開会宣言、挨拶
15:00-16:00 議長・副議長・書記選出
会議に関する手続事項の確認
PCGIAP, UNRCC-AP 活動報告
16:00-17:30 基調講演

7 月 15 日 (火)

9:00-12:00 招待講演「全球、地域、及び各国の空間データ基盤」
14:00-16:00 招待講演「国際機関の取り組み」

7 月 16 日 (水)

9:00-10:20 招待講演「空間データ基盤にかかる経済的問題」
10:40-12:00 招待講演「能力開発と教育」
14:00-17:00 テクニカルツアー

7 月 17 日 (木)

9:00-12:00 招待講演
「空間データの収集、管理、配布」
14:00-17:00 技術委員会

7 月 18 日 (金)

9:00-12:00 決議採択
閉会式
PCGIAP 新役員を選出・規約改正
(17:00- PCGIAP 理事会)



写真 - 1 本会議の様子